

(様式 1)

令和 7 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立両国中学校
校長名	杉浦 伸一

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
・ 全学年、全教科において、平均正答率が全国平均を上回っている。 ・ 観点別の正答率では、全国平均と同等または上回っている。特に 1、3 年生の数学、2 年生の英語では 2 観点すべてで全国平均を 10 %以上上回っている。	・ 「基礎」よりも「活用」、「知識・技能」よりも「思考・判断・表現」の正答率が低いことから、知識・技能を活用する力を育成すること。 ・ 2、3 年生の全教科において、昨年度よりも D、E 層の割合が増えていることから、基礎・基本を定着させること。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
・ ノートの取り方や学習の仕方を、目的に応じて工夫することができる。 ・ テストで間違えた問題はそのままにせず、解き直すことができている。 ・ 授業や日常生活の中で、疑問に思ったことを調べようとする学習意欲がある。	・ 目標達成のため計画を立てて学習すること。 ・ 学習していることと社会との繋がりを考えられるようになること。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・ 学習に前向きな生徒が多く、授業でも互いに高め合おうとする姿が見られる。 ・ 定期考査、小テストなどへの意欲が高く、努力できる生徒が多い。	・ 学習に集中できない生徒、学習内容の理解が不十分である生徒の基礎・基本を定着させること。 ・ 課題について、自ら考え、深め、表現しようとする態度を育成すること。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 主体的に学習に取り組む生徒の育成

- 今年度の校内研修のテーマに「主体的に学びに取り組む生徒の育成～学ぶ意欲の向上による学力向上～」を掲げ、グループ研究、研究授業を行う。国語、英語、社会グループでは「主体的な学びを促すための導入、問いかけを工夫する」、数学、理科グループでは「評価基準の提示を通して、生徒に学習の見通しをもたせ、主体的に学ぶ意欲を高める」、実技教科グループでは「生徒ができるようになったことを実感するための目標設定の工夫」をグループのテーマにし、2回の研究授業と研究協議、事前の指導案検討を行う。また、7月に実施した1回目の研究授業の後には、各自が日々の授業で具体的に実践する内容を決め、その成果と課題について協議し2回目の研究授業で検証する。これらの取組を通して、主体的に学習に取り組む生徒の育成を図る。
- 生徒の学習に対する意識は、意識調査や日々の授業の様子からも比較的高い状況であることが見てとれる。生徒の学ぶ意欲をさらに引き出し、意欲的になれない生徒には学びたいと思わせるよう各教科で工夫してフォローアップすることで、生徒がより意欲的に学びたいよう学習環境を整える。

(2) 基礎・基本の定着と発展的な課題への取組の推進

- 5教科において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させる取組を計画的、意図的に取り入れる。また、生徒が自分の理解度を把握し、学びの調整ができるよう各教科で学習状況を振り返る時間を設ける。さらに、授業内や家庭学習の課題として、発展的な内容の学習にも取り組む機会を単元指導計画に盛り込む。
- 朝の10分間を活用して朝読書に取り組みせ、落ち着いた学習環境を整える。また、定期考査3週間前からは振り返りシートや学習アプリミライシードを活用して学習に取り組みせ、定期考査1週間前は朝学習期間として生徒が自ら設定した課題に取り組みさせることで、**基礎・基本の定着及び発展的な課題にも対応できる力を身に付けさせる。**

(3) 家庭学習に取り組む学習習慣の確立

- 定期考査3週間前に各教科の試験範囲を提示し、学習計画を立て主体的に学習に取り組む態度を育てる。学習計画は具体的な取組内容や方法、実施後の自己評価を記入させ、生徒が自分の学習状況を振り返ることができるようにする。担任は、定期的に生徒の学習状況を確認し、必要に応じて励ましの声掛けや助言することで、生徒の自己肯定感を高めながら粘り強く学習に取り組むことができる心を育む。
- 各教科の授業において、前時とのつながりを意識した導入や発問の工夫、計画的な小テストの実施、多様な教材（プリント、ワーク、タブレット、学習アプリ）を活用した課題を用意し、継続して学習に取り組む習慣を付けさせる。

3 「令和8年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・ 国語、数学、理科、英語のDE層を20%以下に、社会のDE層を30%以下（今年度達成できている1年生国語、数学、英語は今年度の数値と同程度、もしくはそれ以下）にする。
- ・ 全教科のAB層を60%以上にする。
- ・ 標準スコアの経年比較で、各教科1つ以上の観点で向上を目指す。